

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

656-363

事務事業名	一般廃棄物最終処分場建設事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	2	2	12	4	806,179
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	56 廃棄物の減量と適正処理											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法、飯田市環境基本条例				
		事業期間	15	年度～	20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・市内で発生する家庭系一般廃棄物(不燃性埋立ごみ、焼却残渣等、し尿等汚泥焼却灰)	H21年度～H35年度(15年間の平均)の埋立廃棄物量 単位m3	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
				101000		
	・安定的に適正な埋立処分が可能な最終処分場を確保する。	建設工事の進捗状況(18～20年度) 単位%	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
				59		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
18目標			10	最終目標	100	H20
	埋立廃棄物容量の確保 単位m3	18実績	17	19目標	59	最終目標達成年度
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標	101000	H20
		18実績		19目標		最終目標達成年度
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	現処分場の残容量が逼迫してきていることから、後継施設として最終処分場を建設する。 敷地面積 51,256㎡ 埋立面積 13,800㎡ 埋立容量(廃棄物換算) 101,000m3 埋立期間(15年間)の埋立廃棄物量 浸出水最大処理能力 60m3/日	・建設工着手 ・建設工事 ・工事監理	竣工までの金額ベースでの出来高(単年度の出来高) 単位%	17
		・建設工事 ・工事監理	竣工までの金額ベースでの出来高(単年度の出来高) 単位%	42

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	97,489	242,505
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	185,200	536,300
	その他		
一般財源	8,532	27,374	
事業費計(A)	291,221	806,179	
人件費	正規職員所要時間	18年度 3,800	19年度 3,900
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	13,589	13,946
	トータルコストA+B	304,810	820,125

特定財源内訳や補足事項	循環型社会形成推進交付金1/3 合併特例事業債 充当率95%
-------------	-----------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	適正に処理される。	一般廃棄物の収集処理量 単位t (中間処理分を含む)	現状値	25595	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・現処分場の残容量がひっ迫しているため、後継一般廃棄物処分場の確保が急務となった。	・環境協定の締結 ・時機を得た報告説明会等の実施。 ・建設発生木材の開放(ストーブ、風呂焚き用) ・市民への情報公開(ホームページ・現場見学会など)	・適正な工事監理を求められている。 ・周辺の日常生活に支障とならないよう配慮を求められている。

### 【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="text"/>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 平成20年度竣工させる。 周辺環境に配慮し完成させる。 市民や地元の方々への理解を深める活動を進める。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	引き続き市民に信頼される施設づくりを目指した活動 ・地元とのコミュニケーション ・市民への情報公開	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- 施設などを新設、改造、廃止するとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	生活環境影響調査を実施、予測評価に基づき希少種の移植、騒音・振動調査、建設発生木材の再利用。		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	